

平成30年度 摂津市立味舌小学校 第2回学校協議会 会議録(要点筆記)

平成30年10月11日(木)19時から20時30分

於：本校南棟1階学習室にて

記録：羽田 行伸(事務局 本校教頭)

出席委員：榎谷 佳純、門野 さとみ、吉田 栄子、小澤 香織、高森 佳代子、
中居 正一、前田 文雄、河合 隆之

欠席委員：以登田 毅 (敬称略)

学校出席者：校長 前馬 晋策、教頭 羽田 行伸

1. 校長より挨拶

2. 議案

①前回協議会以降の取組みと10月中の予定について

- 8月6日 平和登校日 出席率およそ8割 ※平和登校日は出席日数にはカウントされない。
校内研修 国語・道徳
- 8月8日 摂津市立小中学校教職員 全体研修会
管外視察の報告…本校教員管外視察(四万十町立窪川小中学校)に参加し報告
- 8月16日 校務用PC入替作業
- 8月19日 すこやかネット行事 鮎つかみ(青少年指導員主催行事)
- 8月24日 すこやかネット行事 コンサート(第1児童センター主催)
- 8月25日 正雀たそがれコンサート
- 8月27日 始業式
- 8月30日 連合水泳大会 ※簡易テント設置(暑熱対策)
- 9月2日 市PTA協議会 スポーツ大会(キンボール)
- 9月3日 運動会練習開始
- 9月4日 台風21号接近による臨時休校
- 9月14日 教育実習生 研究授業
- 9月20日 国語科 研究授業(2月7日(木)本校研究発表会に向けて5年1組で実施)
- 9月30日 台風24号接近による臨時休校 運動会延期
- 10月3日 運動会開催
- 10月3日～5日 校長出張(全国連合小学校長会 北海道函館市)
- 10月7日 地区市民体育祭
- 10月10日 4年生遠足(万博記念公園・ニフレル)
- 10月11日 5年生稲刈延期→15日に実施
- 10月12日 避難訓練(火災) ※リアリティを追求し、「もしも」の時に行動できる力を育む。
10年目経験者研修 研究授業
- 10月22日～23日 6年生修学旅行(広島県 平和記念公園、蒲刈島)
- 10月25日 2年生遠足
- 10月28日 日曜参観・PTAカーニバル

②運動会について

(校長) 多くの児童は満足していた。台風のため延期となり、平日開催にもかかわらずたくさんの方にお越しいただき感謝している。これから、皆様にご覧になられた感想も含めてご意見をお伺いしたい。

●当日（プログラム、進行、児童の様子）

(委員) 競技のネーミングも含め、面白かった。

(委員) ダンス(演技)ではそれぞれの学年が工夫していた。1年生が扇子を合わせて表現をしていたのはすごかった。

(委員) 一番感激したのは、6年生が退場の時にグループであいさつをしていたこと。

(校長) 徒競走で児童が手を抜かずに最後まで一生懸命走っていたのは感心した。進行についてのご意見を伺いたい。

(委員) 競技終了後の退場の際、一生懸命走っている姿がよかった。

(校長) 児童の様子については？

(委員) いつもは本部の後ろに入ってくる児童がいたけど今年はいなかった。

(校長) 来賓紹介の時に、低学年を中心に一生懸命返事をしていたのも、児童たちの張り切りの姿であったと思う。応援団も、一生懸命応援をしていた。

●準備（PTA・地域との連携）

(校長) 準備等についてはPTAや地域の皆様との連携が必要だが、ご覧になっての感想は？

(委員) スムーズに連携が図れていたと思う。

(校長) テントの準備を自治会に依頼をしていたが、台風の影響で安全管理上の問題からテントを立てないこととなり、また、準備がなくなったにも関わらず手伝いに来ていただいた地域の方もおられ、本当に申し訳なく思う。

(委員) 自治会長には連絡が入っていたが、手伝うつもりの方に連絡が入らなかったようだ。そのあたりの連絡を徹底していくことは今回の改善点の一つと思う。市民体育祭の時にも同様のことが言えるので、検討していかなければならない。

●事前の取組み（1か月の練習期間）

(校長) 私は1か月間の練習期間は少し長いと感じている。授業時数の確保の問題もあり、これでよいのかと思うこともある。その点については？

(委員) 子どもは楽しかったと言っていた。

(校長) 教員が練習でペースを上げて、本番の10日前ぐらいにピークを持ってきてしまうことがある。その後、児童が疲れてしまったり、教員が子どもたちを叱ったりしてしまう場面も時折見られた。

(委員) 4年はエイサー、5年はソーラン節、6年は少し前までは組立体操と固定されてきており、前年度以上のものを完成させなければならないという使命感が担任の先生たちにあるのでは？

(委員) 地区市民体育祭と一緒に抱き合わせてやることも考えていけばどうか？子どもと地域との連帯感を深めていく意味での行事とすることも一つかと思う。ダンスクラブがやるような表現活動と同じことをやって、それがすべての児童の満足感

につながっているのか？徒競走なども含めて、全員が同じことを同じ種目の中でやって、そのことでしんどい思いをしている子どももいるかもしれない。

(校長) お子さんが小学校に通っておられた頃と比較してのご感想は？

(委員) 連水で表彰がなくなったということも聞いているが、運動会でも表彰をすることは必要だと考えている。競争の原理は社会に出たときに必ず反映されていく。そういった意味では大切なことと考えている。

(校長) 去年との比較、学年ごとの比較をしてしまい、教員側は「より良いものを見せたい」と出来栄えを気にし過ぎているところもある。一方で、昨年取り組んでいた学年の先生からダンスの指導を受けたり、YouTube で映像を見ながら練習していたりと、微笑ましい光景が見られることもあった。

●今後（開催時期について）

(校長) 開催時期について、皆様からのご意見をいただきたい。5月や6月に運動会を実施することで、学級や学年づくりで行事を活用することができるし、2学期開始から落ち着いて学習に向かえる効果も期待できるという考えもあるが…。

(委員) 高校では、新しいクラスとなって6月に体育祭を実施することでクラスの団結が深まるということを知っている。私は5月から6月に運動会を実施することは賛成である。

(校長) そうすれば、市民体育祭もさらに生きてくるかもしれない。

(委員) 小学校1年生の子が1学期のこの時期に運動会を実施することに影響があるのではないかと？1年生は1学期を終えてしっかりしてくる子が増えてくる。そのことを思えば、秋に実施するのが1年生の児童にとっては良い面もあると思う。

(委員) 私も同じことを考えていた。今日も登校する児童を見ていて、この半年の成長の大きさを感している。学校の中で先生や友達と過ごす半年の時間の大きさを感じる。

(委員) 私も同じことを考えています。幼稚園を卒園して小学校に入学をした1年生がお母さんに手を引いてもらいながら登校している姿を見ているとそう感じる。

(委員) 6月に合唱に取り組んでクラスづくりを行っている学校もある。

(委員) 我々の時代では運動会は秋で固定化されていた。幼稚園でも運動会は取り組まれており、みっちり鍛えてもらっているところもあるだろう。秋開催から春開催に移行している学校が多いのは、その答えではないだろうか。

(校長) 運動会は秋、という季節感も少し変化があるかもしれない。

(委員) 高校で春にやっているのは、進学や就職を控えていることもあると聞いている。しかし、9月の時期の暑さを考えると、春の時期にやるほうが健康面や安全面ではよいと考えられる。

(委員) 摂津小で昨年度校舎新築工事のために春開催をしたときに、1年生の指導で課題があったとも聞いている。次年度の新入生に今年の1年生のようなことができるかどうか、ということに関しては先生方の指導に大きく影響されると思う。

(校長) 学校はややもすると「昨年通りに行く」という風潮があり、これまで開催時期のことであまり議論してこなかった。

(委員) 学校で取り組もうとしていることに対して、地域や保護者などの周りがどうサポートしていくことができるかどうか、ということも考えなければならないと感じる。

(委員) 例えば、『1年生でダンスに取り組み、完成させなければならない』と縛ることも一つの

固定観念。開催時期に応じて、プログラムの内容も考えていけばよいのではないか。

(委員) 夏休み中に先生がダンスを考えていくことに尽力している情熱を聞くと、その先生方の情熱を向ける時期などもしっかりと踏まえ、取り組む必要もある。

(校長) 確かに、前年度との比較ばかりしていると、『昨年度より良いものを見せなければならぬ』という教師の使命感が児童を追い立てることにつながるかもしれない。春、秋のどちらにもメリットとデメリットがある。PTA からも意見を頂きながら、しっかりと検討していきたい。

③清掃について

(校長) 清掃は「児童が日頃使っている場所を大切に、愛着を持つ」などの目的とする教育活動の一つである。現状は、一生懸命取り組んでいる児童がいる反面、時間が短く途中で終わってしまったり、教員も見回る箇所が多く、他の業務もあつたりと指導が十分できていなかったりもする。また、児童がきれいにするのが困難な場所もある。児童の清掃に関してご意見を伺いたい。

(委員) みんな真面目にやっている印象がある。自分たちの時にはもっと不真面目だった気がするので…。

(委員) 私も同じように感じた。先生がいない理科室を真面目に掃除し、窓ガラスを水拭きするなど、丁寧に掃除をしている印象だった。実際に家で箒や雑巾を使って掃除をする機会が少ないのではないかと学校での経験は貴重である。

(委員) 体操の一環で雑巾絞りの動きを行う取組みがあるが、その姿がとても美しかった。それを見ると、雑巾を絞るという習慣作りも大切だと感じる。

(委員) 掃除も習慣として身につくことが確かに大切だと思う。それと同時に『きれいにする』という目的もとても大切だと思う。ゴミがあるところにはゴミが捨てられる。逆にゴミのないところはきれいに保たれるということもあるので、児童ができないところや、なかなかきれいにならないところは、年に数回業者が来て徹底的にきれいにしてもらうことも必要かと感じる。

(校長) 確かにきれいにならなくても、子どもの力では徹底できないところもある。この間、予算要求のヒアリングがあり、そこでプロの清掃員の派遣を打診したが、学校の環境整備のために校務員を配置しているとの返答だった。校務員は、学校の広い敷地全体を対象に環境美化（草抜きや側溝の掃除も含めて）や整備に努めているところである。校務員ができることとできないこともあり、トイレや廊下、外のガラスなどをプロに徹底的にきれいにしてもらうということを見せるとよいかとも思う。地域の方にご協力いただき、美化活動を行っている学校もあると聞いている。

(委員) 摂津小では年間1回、地域でボランティアが清掃活動を行っている。

(委員) 学校も公的機関であるということを考えたら、市民のものである学校にも清掃員派遣のための予算を組むこともあってもよいと思う。

(委員) シルバー人材センターへの委託も含め、検討してよいと思う。学校がきれいな場所であることから、子どもも教員も学校に愛着を持つことができると思う。そういう意味では、行政が学校をきれいにするための方策（予算配当や人的配置の委託など）を講じることはとても大切だと思う。清掃を子どもにさせることも教育的側面はあるだろうが、行政としても公的機関である学校をきれいにするための方策を考える方がよいと感じる。

- (委員) 自分の子どもが雑巾絞りを覚えたのも学校での掃除があったからで、経験としては大切なことだと思っている。しかし、清掃箇所が多いとか時間が限られているとかの理由で十分掃除されておらず、きれいではないところがあるのも良くないと感じる。学校をきれいにするための行政の予算はぜひとも組んでもらいたいと思う。
- (委員) 例えば、掃除を放課後にはいけないのか？ 昼休みは先生たちも次の授業の準備があるだろう。
- (校長) 私が小学校低学年の頃は、掃除は放課後に行っていたが、中学年の頃に給食の後に変わった。指導ができる時間帯や、安全管理上の問題から現在の形になったと考えられる。
- (委員) 子どもの管理上の問題点については十分理解できるし、納得するところはある。
- (校長) これまで学校から行政に清掃に関して、予算要求を積極的にしてこなかったところもある。これからしっかりと働きかけていきたいと思う。

3. その他

〈次回審議事項〉

① 給食を通じた食育について

- (校長) 学校で、同じ場所でみんなが一斉に「いただきます」をして、同じものを食べることは、日本の独特の文化の一つである。「好き嫌い」「残す」といったことも、周りから注意を受けるのも、同じであることを求めることから生じている面がある。ある意味、学校の画一的指導の象徴的な側面を給食は持っている。
- また、教師は当たり前のように給食指導を行っているが、給食指導がなければいぶん業務が楽になると思っているところもある。火傷などの事故の心配、食物アレルギーの対応など、給食は命に関わる心配をしなければならない場面が多々ある。
- しかし、ほとんどの児童は給食が大好きである。幼稚園は希望者が減る傾向がある中で、べふこども園は給食があることから入園希望者が減らない傾向がある。給食が行われることは、保護者にとっても喜ばれている。
- 給食を通じた食育について、次回の意見交換をお願いしたい。

② 修学旅行について

- (校長) 平和学習の一環としての修学旅行を実施している。集団づくりや小学校生活の思い出づくりも目的の一つである。今年度末、再来年度の修学旅行の旅行業者を選定するが、改めて、修学旅行について、その意義や望ましい形を考えたい。費用が、一泊二日で2万円を超えていることも課題の一つ。ちなみに私は小学校の時の修学旅行の行き先は、岡山。昭和50年代後半ごろから本市では、三重県方面から広島方面に変更された。大阪府内では、体験学習も兼ねて淡路島に行くところもあると聞いている。この件についても、意見交換を次回お願いしたい。

4. 閉会のあいさつ

次回 平成30年11月29日(木) 19時より
摂津市立味舌小学校 学習室にて